

2021年7月29日
株式会社東陽テクニカ

Checkmarx 社、4年連続でガートナー社マジック・クアドラントの アプリケーション・セキュリティ・テスト部門で、「リーダー」に選出

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 俊也^{こうの としや}）は、当社が代理店を務める、ソースコードの脆弱性解析に強みを持つ Checkmarx Ltd.（本社：イスラエル国テルアビブ、以下 Checkmarx 社）が、リサーチ&アドバイザリー企業である米国ガートナー社の 2021 年版マジック・クアドラント^{※1}のアプリケーション・セキュリティ・テスト部門で、「リーダー」に選出されたことをお知らせいたします。4年連続で「リーダー」の評価を獲得しました。

レポートでは、ガートナー社は、アプリケーション・セキュリティ・テスト（AST）市場での「ビジョンの完全性」と「実行能力」について Checkmarx 社を評価しています。



本レポートには次のように記載されています。「市場の性質が変化しています。私たちはこれまで、静的 AST ツール、動的 AST ツール、インタラクティブ AST ツールというレンズを通して市場を見てきました。このようなツールは依然として AppSec プログラムの中心のままで、ソフトウェアコンポジション解析（SCA）、モバイルテスト、ビジネスに不可欠な（SAP、Salesforce などの）アプリケーションテスト、API テスト、コンテナスキャン、そして Infrastructure-as-Code（IaC）スキャンなど、他のツールが数多く加わってきています。アプリケーションとクラウドセキュリティの境界線は不鮮明になっています。」^{※2}

Checkmarx 社 CEO Emmanuel Benzaquen 氏は以下のように述べています。

「プロプライエタリコードとオープンソースコード、API、コンテナ、そして裏で一緒に動いている非常に多くのその他のコンポーネントによって構成されている最新のソフトウェアは、信じられないほどに複雑になっています。これによって、よりダイナミックなアプリケーションが生まれる一方で、悪意のある攻撃者が狙いを定めるサイバー攻撃の対象領域も大量に作られました。Checkmarx 社のソリューションは、すべての開発ステージ・あらゆるデプロイ環境にわたり、開発者が迅速かつ簡単にソフトウェアリスクのすべての側面に対処できるように独自設計されています。このガートナー社による Checkmarx 社への連続しての評価は、我々の AST へのアプローチと絶え間なく進化するお客様のニーズへのサポート力の高さへの裏付けであると確信しています。」

Checkmarx 社は最前線で、組織が開発を遅らせることなくソフトウェアのセキュリティと品質を向上させることができるよう、DevOps^{※3} プロセス全体に自動セキュリティスキャンやテストを組み込む支援を行っています。脆弱性静的解析ツール「Checkmarx CxSAST」、OSS リスク管理ツール「Checkmarx CxSCA」、インタラクティブアプリケーション脆弱性検査ツール「Checkmarx CxIAST」、および体験型 AppSec マイクロラーニングサービス「Codebashing」、そして最近発売した IaC の静的解析用オープンソースプロジェクト「KICS」から構成される Checkmarx 社の AST ポートフォリオは、開発者が単一インターフェースから、プロプライエタリコード、オープンソース、ならびに IaC を含む最新のソフトウェアのすべてのコンポーネントを可視化し保護できる、最も包括的なオプションです。

現在、世界中で 1,500 以上の顧客が、より安全なソフトウェアのビルドとデプロイに Checkmarx 社製品を信頼し利用しています。2021 年 6 月 1 日時点で Gartner Peer Insights には、Checkmarx 社に関して次のようなレビューが寄せられています。

- 「総合的に Checkmarx 製品の利用は素晴らしい経験でした。ツールとその開発速度は、最新のソフトウェア開発の進歩に遅れずについていっています。」（小売業界、アプリケーション・セキュリティ・リード）[\[レビュー全文（英語）を読む\]](#)
- 「この一年間 Checkmarx CxSAST ソリューションを使用してきましたが、他の競合製品と比較して、コードレビューに最適なソリューションであると言えます。」（金融業界、マネージャー）[\[レビュー全文（英語）を読む\]](#)（レビューは読みやすさの観点から編集されています。）
- 「Checkmarx 社のチームは素晴らしく、直ぐに使い始められるように、必要なサポートをすべて提供してくれました。」（金融業界、シニア・アプリケーション・セキュリティ・エンジニア）[\[レビュー全文（英語）を読む\]](#)

2021 年版のアプリケーション・セキュリティ・テスト分野における Gartner Magic Quadrant レポート（英語版）は、無料で <https://info.checkmarx.com/ja/gartner-mq-2021> からダウンロードできます。

※1 ガートナー社のマジック・クアドラントは特定の市場におけるリサーチの集大成であり、成長が著しい市場で競合しているテクノロジー・プロバイダーの位置付けを「リーダー」「概念先行型」「特定市場指向型」「チャレンジャー」の 4 タイプに分類してグラフィカルに示している。各社の相対的な位置付けを広い視野で捉えることができる。

参照：<https://www.gartner.com/jp/research/methodologies/magic-quadrants-research>

※2 「Gartner, 2021 Magic Quadrant for Application Security Testing」（アプリケーション・セキュリティ・テスト分野における Magic Quadrant）：著者 Dale Gardner 氏、Mark Horvath 氏、Dionisio Zumerle 氏（2021 年 5 月 27 日）

※3 開発（Development）と運用（Operations）が協力・連携して高品質なソフトウェア開発を迅速・頻繁に行う手法。

Gartner 免責条項：

ガートナー社は、ガートナー・リサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高のレーティングまたはその他の評価を得たベンダーのみを選択するように助言するものではありません。ガートナー・リサーチの発行物はガートナー・リサーチの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナー社は、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の保証を行うものではありません。

Gartner Peer Insights のレビューは、個々のエンドユーザーの自身の経験に基づいた主観的な意見であり、ガートナー社またはその関連会社による見解を表すものではありません。

<Checkmarx Ltd.について>

Checkmarx 社は、最新のエンタープライズソフトウェア開発向けのソフトウェア・セキュリティ・ソリューションのグローバルリーダーです。ソフトウェアの脆弱性リスクを軽減・修正する、静的アプリケーション・セキュリティ・テスト、動的アプリケーション・セキュリティ・テスト、ソフトウェアコンポジション解析、ならびに開発者用の AppSec 認知・トレーニングプログラムを、DevOps と親和性の高い業界で最も包括的なソフトウェアセキュリティプラットフォームを通して提供しています。Checkmarx 社は、SAP、Samsung、Salesforce.com などの一流企業を含む、フォーチュン 100 企業のうち 40 社以上、フォーチュン 50 企業の半数から信頼されています。

Checkmarx 社 Web サイト：<https://www.checkmarx.com/>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最先端の計測機器の輸入販売を行ってきました。現在の事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンスなど多岐にわたり、独自の計測技術を搭載した自社製品の開発にも力を入れ、国内外へ事業を拡大しています。「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、5G(第 5 世代移動通信システム)の普及や自動運転車開発なども支える最新ソリューションを提供することで、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部マーケティング課

TEL：03-3279-0771(代表)

E-mail：marketing_pr@toyo.co.jp

Checkmarx 社製品一覧：https://www.toyo.co.jp/ss/maker/product_list/id=12693

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。